

職員による自己評価

A環境面

活動は確保されており、設備のバリアフリー化もされている。

B児童への支援内容

活動プログラムは固定化にならない様に、月間予定の立案にあたり担当指導員や児童に関わる職員で、様々なプログラム作成を行っている。

C関係機関との連携

保護者とも連絡とっており、学校・関係機関との連携も進めている。

D保護者への説明責任・信頼関係

保護者同士の連携や情報交換の場として茶話会開催できた。

E非常対応

非常時マニュアルがある。

保護者による評価

A環境面

活動スペースが十分に確保出来ており、職員も適切に配置されている。

施設バリアフリー化や安全な配慮がされています。

B児童への支援内容

毎回プログラムが工夫されていて子どもも楽しみにしています。

C事業所からの情報発信

子どもや保護者との意思疎通や情報伝達は日頃からできている。

保護者会（茶話会）も開かれ、色々な情報を得られた。

D非常対応

非常時のマニュアルについては保護者への周知もまばらである。

事業所内での分析

【共通点】

環境面では職員、保護者共に概ね整っていると評価しており、活動プログラムでも工夫されていると共通の評価となっている。

保護者同士の連携や情報交換の場として、茶話会が好評で今後も継続したい。

【相違点】

送迎時間変更などの保護者様・学校との連携が十分といえない状態がある。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

児童への支援体制は設備、職員、活動プログラムなど整っており、個々の保護者との関わりも日頃から出来ている。

事業所の改善点

学校送迎時間のチェック確認をする為に、保護者様や学校機関ともに情報伝達を細かくしていきたい。

事業所の改善への取り組み

情報提供の一環として、茶話会・広報などにより定期的に行うことができるように職員も研修などに参加して情報収集やスキルの向上に向けられる様に取り組む。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

職員と保護者との関係も良い評価を頂き、これからは保護者様からのアンケートなどで色々な意見を聞き良い支援が出来るように励みます。